

持続化補助金の活用事例紹介

伝統の味を極める！販路拡大事業

「三浦醤油店80周年物語」



昭和9年、
初代の祖父・
兼吉が丁稚奉
公を終え、自
ら味噌・醤油
を製造し、量
り売りをして
歩いたのが三
浦醤油店の始
まりです。

現在代表者

である父・義弘が2代目として伝統の味を引き継ぎ、小さな蔵ながら、家族を中心にまとまり、地域に根ざした経営を行っています。

弊社の醤油は甘くまろやかな味が特徴で、昔ながらの各家々との直接の取引を大切にしております。しかし、近年は調味料の多様化や核家族化、減塩志向もあり、醤油や味噌の消費量は大きく低迷しており、弊社も例外ではありません。売上の減少幅を抑えられるように努力をしていますが現状は厳しく、経営向上に繋がる販路開拓と多様化する顧客ニーズにマッ

チした企画提案が必要と考えておりました。

そうした中、県青連役員時代の友人との繋がりの中で、小規模事業者持続化補助金を知りました。日頃から商工会の加藤裕子経営指導員に、弊社の事業計画や将来展望について相談する機会が多くあったこともあり、事業計画策定段階から多くの提案を受けられることができました。大変感謝しております。

今回の小規模事業者持続化補助金



家族の名前が入った新パッケージの醤油と新商品「おかず味噌」

の活用を通して、次の4つのことに取り組みました。

- 1 醤油・だし醤油のさらなる品質向上
- 2 「おかず味噌」の商品試作
- 3 HPとネットショップの整備
- 4 アンテナショップや展示会等でのPR

この度の補助金活用を進める上で、市場の動向や顧客ターゲット層の分析など、自社商品における現状を深く掘り下げた、きめ細かな支援を受けました。このことが新商品開発に大きく役立ちました。

初代が作り上げた味、そして二代目が引き継ぎ活かした商品に焦点を当てるとともに、それを支えるおかみ達にゆかりのある「おかず味噌」の商品化に取組みました。これらの商品には、それぞれの思いを込めた名前を付けました。

併せて、潟上市商工会で開催している「潟上3☆スマイル事業」に参加したことにより、同時進行で、モノを売るのではなく「体験」としてお客様に商品を知ってもらう重要性や手法を学ぶことができ、大変効果的でした。

今後は、これまで以上に地域の素材を学び、商品に活かしていけるように

取組めます。これまで大切にしてきたお客様と向きあう販売スタイルを、ネット販売の中でも活かしていけるような体制作りを確立していきます。



後継者から一言

潟上市商工会
有限会社 三協商事
(三浦醤油店)
三浦 将人



先代の作り上げてきた商品、味をしっかりと残していくとともに、今までもこれからも人とのつながりを大切に、次の90年、100年を目指して、自社のファンを増やしていきたいと思っております。

潟上市天王字上江川47-502 TEL018-878-2015